

第2次長泉町都市計画道路整備プログラムについて【令和4年3月】

1 道路整備プログラムとは

都市計画道路整備プログラムとは、今後整備すべき都市計画道路について、事業の透明性を確保し、より効率的・効果的な整備を推進するために、優先的に整備していく必要性のある区間を明らかにしたものです。今後10年程度を視野に入れた長泉町の道路整備に関する計画となります。

2 道路整備プログラム策定の背景・目的

長泉町では、平成19年3月に「長泉町都市計画道路整備プログラム」を策定・公表し、プログラムに基づき、整備を進めてきました。

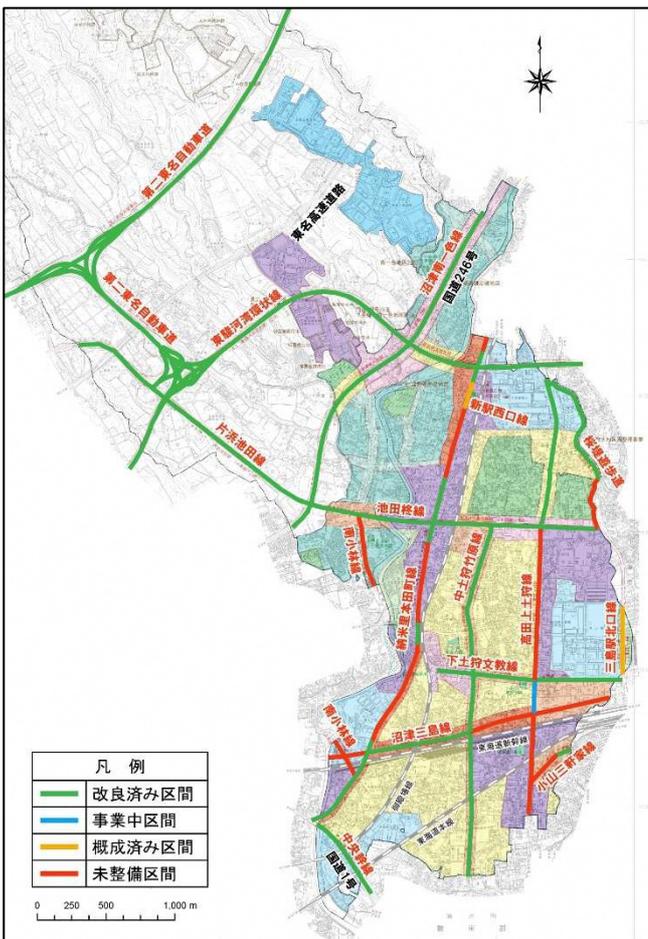
並行して、長泉町では都市計画決定から長期にわたり未着手となっている路線や区間を中心に、平成30年度に都市計画道路の必要性について再検証を行い、令和2年3月に「長泉町都市計画道路必要性再検証結果」を公表しました。

そのため、必要性の再検証の結果にあわせて、改めて各道路の重要度・優先度、実現性などを評価し、「第2次長泉町都市計画道路整備プログラム」を策定しました。

3 都市計画道路の整備状況

長泉町の都市計画道路は、令和3年3月31日現在で18路線（延長30,410m）あります。その内、改良済み区間（事業中を含む）が22,640m、概成済み区間（都市計画道路と同程度の機能を果たし得る現道を有する）が870m、未整備区間が6,900mとなっています。

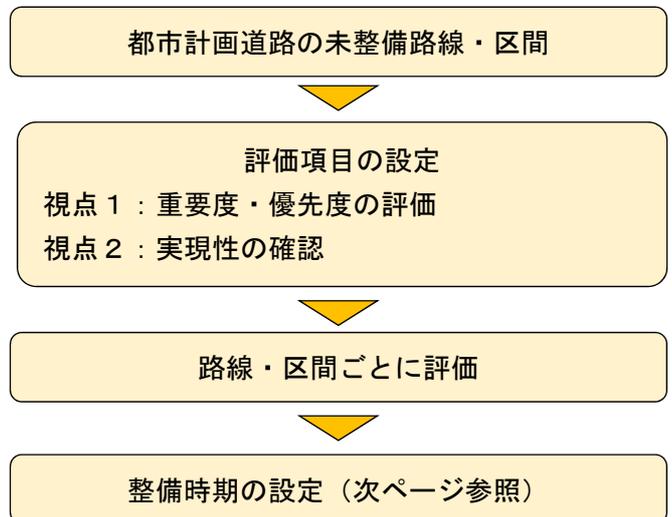
【都市計画道路整備状況図】



4 整備時期の設定

整備時期の設定にあたっては、都市計画道路の未整備路線・区間に対して、「重要度・優先度の設定」と「実現性の確認」の2つの視点から設定した評価項目により評価し、各路線・区間の整備時期を設定しています。

【整備時期の設定の流れ】



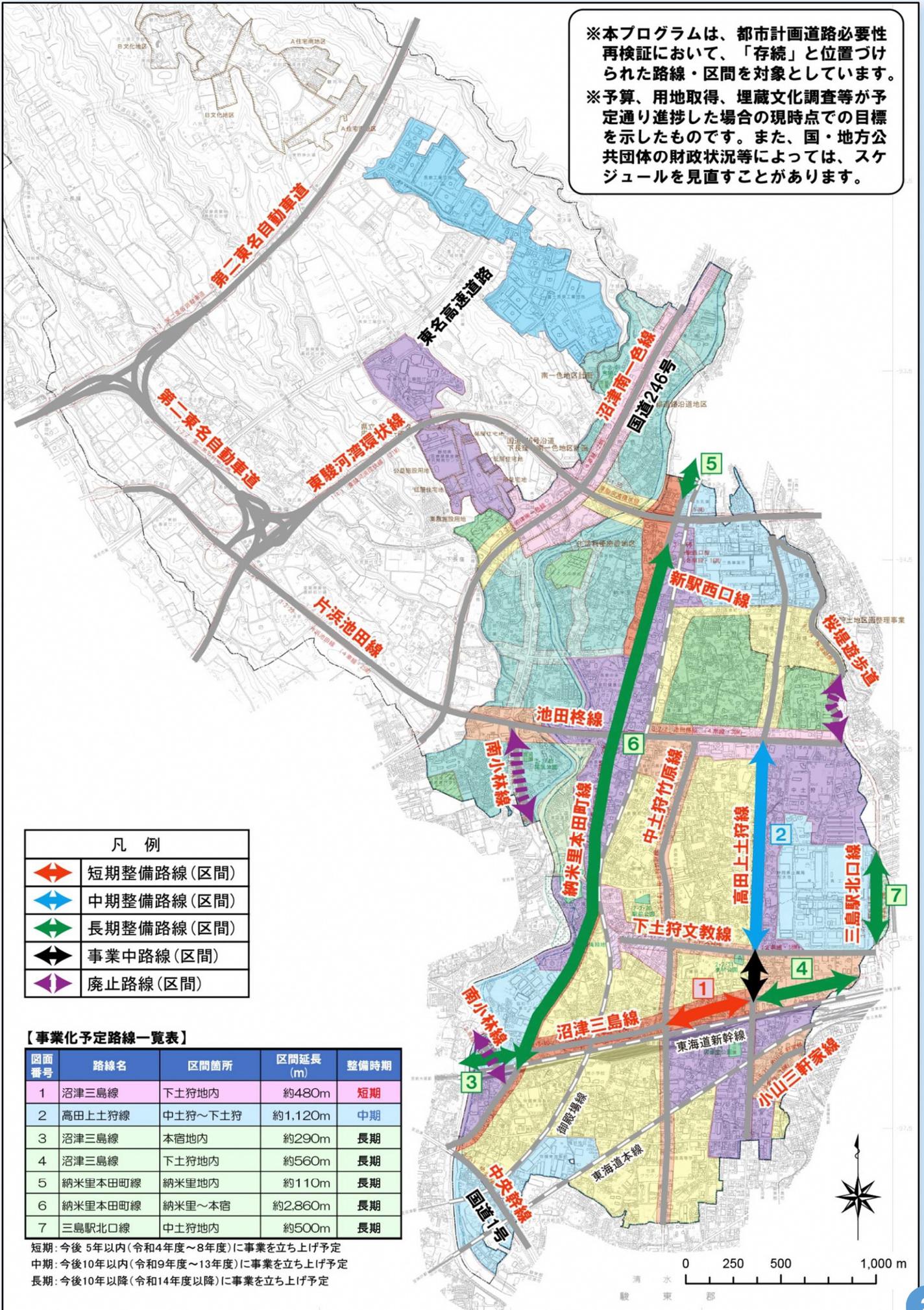
5 道路整備プログラムの見直し

社会情勢や道路整備を取り巻く環境に大きな変化があった場合には、変化に応じて評価項目の見直し（再評価）が必要になります。

そのため、本プログラムは、計画（Plan）、実施（Do）、検証（Check）、改善（Action）のPDCAサイクルにより、必要に応じて見直しを行います。

6 第2次長泉町都市計画道路整備プログラムの策定結果（道路整備プログラム図）

※本プログラムは、都市計画道路必要性再検証において、「存続」と位置づけられた路線・区間を対象としています。
 ※予算、用地取得、埋蔵文化調査等が予定通り進捗した場合の現時点での目標を示したものです。また、国・地方公共団体の財政状況等によっては、スケジュールを見直すことがあります。



凡例	
	短期整備路線(区間)
	中期整備路線(区間)
	長期整備路線(区間)
	事業中路線(区間)
	廃止路線(区間)

【事業化予定路線一覧表】

図面番号	路線名	区間箇所	区間延長(m)	整備時期
1	沼津三島線	下土狩地内	約480m	短期
2	高田上土狩線	中土狩～下土狩	約1,120m	中期
3	沼津三島線	本宿地内	約290m	長期
4	沼津三島線	下土狩地内	約560m	長期
5	納米里本田町線	納米里地内	約110m	長期
6	納米里本田町線	納米里～本宿	約2,860m	長期
7	三島駅北口線	中土狩地内	約500m	長期

短期：今後5年以内(令和4年度～8年度)に事業を立ち上げ予定
 中期：今後10年以内(令和9年度～13年度)に事業を立ち上げ予定
 長期：今後10年以降(令和14年度以降)に事業を立ち上げ予定

0 250 500 1,000 m